

◆アメリカ初期映画時代を代表する雑誌の創刊号から最終号までを収録

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国議会図書館所蔵資料デジタル・アーカイブ ムーヴィング・ピクチャー・ワールド誌と サイレント映画の時代

“Through the Camera Lens:”

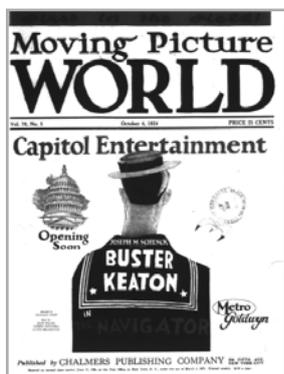
The Moving Picture World and the Silent Cinema Era, 1907-1927

(Source: Library of Congress / Content: 115,972 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



アメリカの初期映画時代を研究する上で、同時代の定期刊行物は必要不可欠な研究資料です。初期映画時代の研究者にとって幸いなことに、この時代には多くの定期刊行物が刊行され、その多くが現存しています。映画愛好家の雑誌、映画会社の機関誌、商業雑誌等、夥しい数の映画関係の定期刊行物が刊行されましたが、中でも筆頭に挙げられるのが週刊誌『ムーヴィング・ピクチャー・ワールド Moving Picture World』です。1907年3月9日に The Moving Picture World and View Photographer として創刊された同誌は、1927年12月31日まで20年に亘り刊行されました。1928年に『イグジビターズ・ヘラルド Exhibitor's Herald』と合併し、『イグジビターズ・ヘラルド・アンド・ムーヴィング・ピクチャー・ワールド Exhibitors Herald and Moving Picture World』として再出発しました。

『ムーヴィング・ピクチャー・ワールド』はルイス・リーヴス・ハリソン (Louis Reeves Harrison)、W.ステイーヴン・ブッシュ (W. Stephen Bush)、ジョージ・ブレイスデル

(George Blaisdell) ら批評家やコラムニストによる最新作のレビュー、最新の出来事、特集記事、映画産業のあらゆる側面に関するインタビュー記事を掲載し、新しいメディアとしての映画の魅力を伝える伝道師の役割を演じました。毎週掲載された大量の広告も研究資料としての価値が高く、映画産業と周辺の諸々の関連産業に関する百科事典的知識を提供します。初期の映画上映施設であるニッケルオデオン (nickelodeon) ブームと刊行期が重なった同誌が、映写、上映施設の音楽、広告に関するコラムを定期的に掲載している点も見逃せません。最盛期には映画界を動かすほどの実力を有した同誌は、今日でもアメリカの初期映画時代の研究資料として不朽の価値を持っています。本コレクションは、1907年3月9日の創刊号から1927年12月31日の最終号まで収録します。



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

